

兼任教員情報公開用（最近5年間の主な業績等）

2024年

氏名	飯田 高	担当科目	法と経済学
学 位			
2002年3月	法学修士（東京大学）		
主 な 学 歴			
年 月	事 項		
2000年3月	東京大学法学部卒業		
2002年3月	東京大学大学院法学政治学研究科修士課程（基礎法学）修了		
主 な 職 歴・経 歴			
年 月	事 項		
2002年4月	東京大学大学院法学政治学研究科助手（～2004年3月）		
2004年4月	成蹊大学法学部専任講師（～2006年3月）		
2006年4月	成蹊大学法学部助教授（～2007年3月）		
2007年4月	成蹊大学法学部准教授（～2013年3月）		
2013年4月	成蹊大学法学部教授（～2015年3月）		
2015年4月	東京大学社会科学研究所准教授（～2019年3月）		
2019年4月	東京大学社会科学研究所教授		
最近5年間の主な業績等			
年 月	事 項		
	【書籍】		
2019年11月	『危機対応の社会科学（上）：想定外を超えて』（東京大学出版会）共編著 「危機対応がなぜ社会科学の問題となるのか」（pp. 1-26）		
2019年12月	『危機対応の社会科学（下）：未来への手応え』（東京大学出版会）共編著 「制度によるブリコラージュ」（pp. 91-113）		
2020年6月	『地域の危機・釜石の対応：多層化する構造』（東京大学出版会）分担執筆 「個人の危機と法制度：地域における法化と制度化の間隙」（pp. 199-221）		
2021年4月	『現場からみる障害者の雇用と就労：法と実務をつなぐ』（弘文堂）共著 「会社・事業所のあり方のモデル分析」（pp. 195-242）		
2021年11月	『デジタル化時代の「人間の条件」：ディストピアをいかに回避するか？』（筑摩書房）共著 「デジタル化と法制度」（pp. 73-109）		
2022年3月	『スタンダード法社会学』（北大路書房）分担執筆 「市場・企業」（pp. 232-241）		
2022年5月	『くじ引きしませんか？ デモクラシーからサバイバルまで』（信山社）分担執筆 「くじによる財の配分：リスクの観点から」（pp. 185-232）		
2023年3月	『現代日本の紛争過程と司法政策：民事紛争全国調査2016-2020』（東京大学出版会）分担執筆 「本書の目的と方法：『民事紛争全国調査2016-2020』プロジェクトの概要」〔共著〕 「高齢者にとっての民事裁判」		
2023年5月	『法社会学の最前線』（有斐閣）分担執筆 「法の構造の定量的分析：民事法を素材として」（pp. 3-25）		
2023年7月	<i>Dealing with Crisis: The Japanese Experience and Beyond</i> (Edward Elgar) 共編著		
2023年7月	『世の中を知る、考える、変えていく』（有斐閣）共編著		
2023年8月	『リーガル・ラディカリズム：法の限界を根源から問う』（有斐閣）共編著		

<p>2020年3月 2020年3月 2020年3月 2021年3月 2021年4月 2021年6月 2021年7月 2021年7月 2021年8月 2021年9月 2022年2月 2022年4月 2023年3月 2024年3月 2024年3月</p>	<p>【雑誌論文（以下は単著論文のみ）】</p> <p>「民事訴訟の当事者に対するサーベイ調査：この20年の軌跡」 法と社会研究 5号 111-151 頁</p> <p>「民事訴訟記録調査の概要」 社会科学研究 71 巻 2号 5-26 頁</p> <p>「民事裁判における自然人と法人：終局形態の分析」 社会科学研究 71 巻 2号 131-153 頁</p> <p>「法過程における社会科学」 司法研修所論集 130号 184-225 頁</p> <p>「法の構造と計量分析」 社会科学研究 72 巻 2号 3-25 頁</p> <p>「くじとリスク：マイクロレベルの一考察」 法と哲学 7号 119-144 頁</p> <p>「自助・共助・公助の境界と市場」 経済分析 203号 285-307 頁</p> <p>「市場におけるルールと私的組織：市場ガバナンスに関する試論」 金融研究 40 巻 3号 1-44 頁</p> <p>「法社会学とはどんな学問？」 法学教室 491号 48-51 頁</p> <p>「訴訟当事者の声を拾うには：民事訴訟調査のサンプリングと回答率について」 法と社会研究 6号 103-128 頁</p> <p>「ソフトローとは何か」 法学教室 497号 10-15 頁</p> <p>「『社会のルール』と『法』」 法学セミナー 807号 8-13 頁</p> <p>「法によるインセンティブとクラウディング・アウト」 法の支配 209号 87-104 頁</p> <p>「司法はどのように人を救えるのか」 法学教室 522号 6-11 頁</p> <p>「抽象化と数量化：法現象をどう測定するか」 法社会学 90号 36-53 頁</p>
<p>（参考：外部リンク）プロフィールURL</p>	
	<p>http://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/mystaff/iida-t.html</p>